



次代の担い手に夢と誇りを ～光り輝く高山市の未来のために～

高山市長 くにしま 國島 みちひろ 芳明

明けましておめでとうございます。
市制施行82年目を迎える年頭にあたり、市民の皆様
様に謹んでごあいさつを申し上げます。

昨年は北朝鮮によるミサイル発射など、国際情勢
は各地で緊張が高まりをみせた中、国内では7月に
九州北部豪雨が発生しました。多くの人命が失わ
れ、住む家を無くし、未だに不自由な生活を強いら
れている方々のことを案じますと、一日も早い復興
を願わずにはいられません。

引き続き防災や減災を講じていくとともに、一人
ひとりが防災と相互扶助の心を培い、いざという時
にむけて備えていかなければなりません。他方、地
球上から核やミサイルなどの脅威がない、誰もが安
心して暮らせる世界を実現するためにも、一層の平
和への取り組みを進めていく必要性を痛感してい
るところです。

さて、57年ぶりの齋行となった昨年の飛騨一宮水無
神社式年大祭は、世相を吉に返す「飛騨の大祭」でも
ありましたので、今年こそは誰しもが幸多き心安ら
かな一年になることを願わずにはいられません。

この大祭をはじめ、市内には有形無形の伝統文
化が多くあります。そしてそれらは、全て先人から
脈々と受け継がれてきました。折しも、一昨年に開
催したユネスコ無形文化遺産登録記念セレモニーの
際に、市内全小学生を代表して西小学校の児童が
「今まで大切に伝えられてきた伝統・文化を知るた
め、地域の行事に進んで参加します」「次世代の担
い手としての自覚を持ち、今まで受け継がれてきた

伝統・文化、そしてそれを守り続けてきた人々の思
いを伝えていきます」と宣言されました。まさにこ
の言葉に尽きると思います。

受け継いでいくのは人であり、それを託すのは私
たちの背中を見て育った子どもたちだからです。

先人から受け継いだ財産と、注がれた人々の思
い・生き様を次世代に絶えることなく継いでいくこ
とを、あらためて市民の皆様と意思を共有したく存
じます。

この達成のためにも、引き続き経済・環境・文化
の施策を着実に進め、誰もが物心両面で他者に依存
しない自立したまちづくりを目指してまいります。

そして、みんなが手と手を取り合い協働して歩ん
でいける、心温まる高山市と一緒に拓いていこうでは
ありませんか。

このことが、次代を担う子どもたちにとって、郷
土に夢と誇りを持ち、この高山の地で生きていこう
という気概につながるものと信じてやみません。

さて、私は市政の主人公である市民の皆様が活躍
できるまちをつくるために、この7年余、全力を挙
げて取り組んでまいりました。これからも滅私奉公
の思いを片時も忘れず、市民の皆様のため、未来の
高山市と次代を担う子どもたちのために、引き続き
万難を排して市政に臨んでまいります。

市民の皆様におかれましても、伝統が受け継が
れ、光り輝く高山市の未来を築くために、変わらぬ
ご支援とご協力をお願い申し上げます、年頭のごあいさ
つとさせていただきます。